

## 学校法人田中学園・緑丘学園 ゼロカーボン委員会が最優秀団体に ～クールアースいばらき2020大会開催～

9月3日にホテルレイクビュー水戸において、「クールアースいばらき2020大会」を開催しました。この大会は、県内の事業所、学校及び地域などでのエコ活動（脱炭素社会に向けた取組）を広く周知することで、温暖化防止活動の環を広げることを目的として実施しています。

5月から募集を開始した「クールアースいばらき2020大会」へは今回も多く多くの団体から応募があり、事務局にて書類選考を行いました。どうしても予定の4団体に絞り込めず、最終的に次項の5団体を選出しました。大会当日は80人の推進員等が審査員となり、①地域特性②独自性③連携④継続性⑤発展性⑥CO<sub>2</sub>削減効果⑦プレゼン力の7項目に評価点をつけ、全員の合計点が最も多い団体を最優秀賞としました。

投票の結果、最優秀賞には、「学校法人田中学園・緑丘学園 ゼロカーボン委員会」が輝きました。来年2月に開催される我が国最大のエコプレゼン合戦「脱炭素チャレンジカップ2021」へ茨城代表として推薦します。



最優秀賞に輝いた学校法人田中学園・緑丘学園  
ゼロカーボン委員会の皆様



プレゼンの様子



優秀賞の4団体の皆様

なお、大会の様子は、全国の地域地球温暖化防止活動推進センターに向けて、ZOOM配信しました。

出場団体	取組内容
<p>Peach Other 茨城</p> 	<p>周りのちょっとした困りごとを皆が助け合うと、世の中がもっとハッピーになるという考えのもと、持続的な笑顔あふれる、平和で明るい協働の社会の実現を広げていく活動に取り組んでいます。SDGs推進、実践しており、日本で開催されるサステナブルブランド会議や、環境庁主催のウィルラボにも積極的に参加しています。主な活動は、地球温暖化、気候変動についての認知度がまだ低い為、たくさんの方に今の地球の現状を知っていただく機会として講習会や研修会を開催しています。</p>
<p>G holdings 株式会社</p> 	<p>G holdings 株式会社は、地球温暖化防止の観点から、資源循環型に役立つ設備の開発に力を注いできました。</p> <p>その結果、カーボンナノホーン技術を確立し、空気から水を製造するアクアルーツを発表しました。また、イオンプラズマ分解の研究を重ね、燃焼することなく、ごみを減容化する施設、プラスチックから油をつくる機器も完成し、現在、実証試験を行っています。これら、アースパワープロジェクトとして、SDGsの目標達成に向けて取り組んでいます。</p>
<p>森の守り人</p> 	<p>～森は海の恋人～</p> <p>私たちは豊かな海を守るためには森の手入れが重要だ！ということを知り、皮むき間伐という手法で人工林の手入れをしております。さらに、間伐した木を「いばらき樹材」として製造、加工、製品化、販売することで、多くの方に昨今の森林問題と必要な森の手入れと地場産木材の利活用の推進をしております。</p>
<p>学校法人田中学園・緑丘学園 ゼロカーボン委員会</p> 	<p>低炭素杯 2017 大会で環境大臣賞金賞を受賞した水戸英宏小中学校は、日本一のエコ学園になることを誓いました。その後、2018 年には「英宏の泉」が茨城セブンの森に認定され、ホテルと里山再生に取り組んできました。今回、更なる取組として、学校法人田中学園・緑丘学園内の 4 つの学校と 2 つの幼稚園が連携し、学園ゼロカーボン委員会を結成し、学園全体で脱炭素を目指していく活動を行い、このたび、環境省ローカルSDGsへ登録。全国の学校ではじめて認定されました。</p>
<p>劇的再生 HIROPIKA</p> 	<p>従来の有機塩素系合成洗剤とは異なり、電気分解でつくった「アルカリイオン電解水」の製造・普及・啓発に努めています。メーカーの多くは、添加剤があるものの「水からできている」というだけで、安全性の確認試験は未実施でした。そこで！HIROPIKAは、より安全で、より効果のある水づくりに挑戦しました。その結果、人と生物に影響がなく、抗菌・洗浄作用に優れた「eco水」が完成しました。</p>

